

事業評価シート

番号 1040070 - 1

【1.基本情報】

事業名	食品衛生協会指導育成事務補助				
担当部名	健康部	担当課名	食品衛生課		
総合計画政策	健康寿命を延ばします		政策コード	1 - 2 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他補助金	実施主体	岐阜市食品衛生協会
実施期間	昭和35年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市補助金交付規則、 岐阜市健康医療関係団体補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	食品衛生事業の円滑な推進及び組織体制の維持・拡充	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員業務指導(月例指導員会への参加) ・協会推進業務指導(検便、水質検査、責任者養成講習会、責任者地区講習会、食協だより発刊への協力、優良施設表彰審査) ・協会運営事務指導(総会、理事会、指導員部会) 	
事業の対象	何を	補助金
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市食品衛生協会
	どのくらい (具体的 数値で)	270千円
平成29年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員業務指導(月例指導員会への参加) ・協会推進業務指導(検便、水質検査、責任者養成講習会、責任者地区講習会、食協だより発刊への協力、優良施設表彰審査) ・協会運営事務指導(総会、理事会、指導員部会) 	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	30	1	30	1	30	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	30	1	30	1	30	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		270	270	270
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	補助金	270	270	270
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		270	270	270

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	300	300	300

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	300	300	300

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	食品等関連事業者	食品等関連事業者	食品等関連事業者
受益者数	4,574	4,559	4,574
受益者負担額(千円)	15,894	14,766	15,023
受益者負担率(%)	5306.8%	4915.4%	5001.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	65	66	66

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	食品衛生責任者講習会開催回数	単位	回
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	30	30	30
実績値	30	30	31

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	食品衛生責任者講習会受講率	単位	%
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	100	100	100
実績値	76	80	82

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	食品関連営業施設の食品衛生向上に有効で、市民の食への安心・安全につながる。 公共性の高い事業内容であるが、会員数の減により自主運営が厳しく、組織体制を維持するために補助が必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	食品関連事業者の組織で編成されている協会に関与することが効率的である。 公共性の高い事業内容であり他に担い手がない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	講習会受講率は毎年上がっており、制度化されるHACCPによる衛生管理の普及促進につながると思われる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者に適正な負担を課しているが、より健全な方向になるよう対策を講じていく。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	食品関連事業者の協会加入率の低下が著しく、自主運営は極めて難しい。30年より食品衛生責任者養成講習会の受講料について、協会加入者(6,000円)と非加入者(8,000円)と区別をする予定である。また、事業内容をPRし、会員拡大に努めており、健全な自主運営ができるまでは、補助が必要と思われる。

事業評価シート

番号 1040070 - 002

【1.基本情報】

事業名	食品安全次世代育成事業				
担当部名	健康部	担当課名	食品衛生課		
総合計画政策	健康寿命を延ばします		政策コード	1 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成20年度～	年度	根拠法令 関連計画※	食品衛生法、食品安全基本法、 岐阜県食品安全基本条例	

【2.事業概要】

事業の目的	次世代を担う小・中学生をターゲットとして、食についての関心や衛生意識を高める。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一日食品衛生監視員体験 食中毒予防啓発リーフレット「太郎さんの食中毒事件簿」を市内全小学校5年生及び中学校教諭に配布し、食品衛生に関する学習に役立ててもらおう。 依頼により小学校での手洗い出前講座を実施 	
事業の対象	何を	食品衛生に関する正しい情報
	誰に (対象者・対象者数)	小・中学生 5,500人
	どのくらい (具体的 数値で)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一日食品衛生監視員体験を2回実施 食中毒予防啓発リーフレット「太郎さんの食中毒事件簿」の配布 5,300部
平成29年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一日食品衛生監視員として食品関連2施設を見学後、正しい手洗い方法を指導 食中毒予防啓発リーフレットを市内全小学校5年生に5,252部配布及び中学校の家庭科教諭等に66部配布、授業に役立ててもらった。 依頼により小学校での手洗い出前講座を7回実施 	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	885	30	912	30	912	30
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	885	30	912	30	912	30

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		446	468	404
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	印刷製本費	333	355	291
	バス借り上げ料	113	113	113
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		446	468	404

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	1,331	1,380	1,316

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	1,331	1,380	1,316

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	小・中学生	小・中学生	小・中学生
受益者数	6,000	6,000	5,500
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	222	230	239

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	食中毒啓発リーフレット配布学校数	単位	校
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	73	73	72
実績値	73	73	72

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	子ども一日食品衛生監視員体験参加者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	60	60	60
実績値	38	44	51

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	食育の一環及び食中毒予防の両面から、食に対する関心を高める必要がある。 将来を担う子供たちの食への関心や衛生意識を高めることは、行政の役割の一つである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	リーフレットの使用状況等についてアンケート調査を行っており、次年度に向けての改善を行っている。 教育委員会及び学校現場と連携し効率的に事業を実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	衛生意識の高い人材の育成により、行政、食品関連事業者、消費者が協力して食の安全を推進していくことができる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市内全小学校5年生にリーフレットは配布されており、公平性に問題はない。また、体験参加者は公募している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	改善	子供の頃から食に関する知識を習得することは、社会全体として食の安全性の向上につながる。今後は、「子ども一日食品衛生監視員」体験と大人を対象とした「食品安全セミナー」を統合し、(仮称)「家族で学ぶ 食の安全」事業とすることで、家族で食の安全に関心をもち、衛生意識を高める効果を期待したい。また、参加者(保護者のみ)には食品安全ウォッチャー登録を促し、意見募集を継続していく。

事業評価シート

番号 1040070 3

【1.基本情報】

事業名	食品安全セミナーの開催				
担当部名	健康部	担当課名	食品衛生課		
総合計画政策	健康寿命を延ばします		政策コード	1 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成27年度～	年度	根拠法令 関連計画※	食品衛生法、食品安全基本法、岐阜県食品安全基本条例、食品の安全に関する岐阜市実施計画	

【2.事業概要】

事業の目的	市民参加型の食品安全セミナーを開催し、消費者と食品関連事業者との相互理解を深めるとともに、セミナー参加者を食品安全ウォッチャーと位置づけ、食の安全・安心に関する市民目線の情報を提供いただき、市の施策等に反映させる。	
事業の内容	公募した市民に対して、食品製造施設の見学及び食品安全に関する講習会を開催する。	
事業の対象	何を	食品衛生に関する正しい情報
	誰に (対象者・対象者数)	食品の安全に関心を寄せる市民(公募) 20名
	どのくらい (具体的 数値で)	食品製造施設の見学及び意見交換会・講習会の開催 1回
平成29年度 (実施内容)	食品関連2施設を見学後、意見交換会を実施した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	236	8	243	8	243	8
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	236	8	243	8	243	8

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	バス借り上げ料	45	46	93
	旅費	1	1	1
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		46	47	94

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	282	290	337

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	282	290	337

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	公募による市民	公募による市民	公募による市民
受益者数	20	20	20
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	14,100	14,510	16,860

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	セミナー参加者	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	20	20	20
実績値	20	18	18

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	食品安全ウォッチャー登録者	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	20	20	20
実績値	17	13	8

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	食品関係事業者と直接対話する機会を設けることにより、消費者と事業者の相互理解を深め、食品に対する安心感を向上させることが出来る。 一般には見学不可な施設でも、市の事業として行うことにより可能となることもある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	食品製造現場を直接視察することにより、食品の安全・安心に関する正しい情報が消費者に伝わる。 市内で施設見学を受け入れる業者は無いが、市外では個別に見学可能な施設が増えており、当市が実施する意義は低くなっている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	セミナー開催後のアンケート調査により、参加者より食品製造に対する理解が深まったと、一定の効果が得られている一方で、参加者が限定され、定員に満たないため、ウォッチャーの登録者数も伸び悩んでいる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	参加者は公募によっている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	改善	食品安全セミナー開催と次世代育成事業の中の子ども一日食品衛生監視員体験を統合、親子とすることにより、若い世代の食品安全ウォッチャーの掘り起こしを行い、リスクを回避しながら親子による食品安全に関する知識を醸成することができる。